建築基準法第１２条第５項の規定に基づく

工 事 監 理 報 告 書 （構造関係）

令和　　年　　月　　日

大田区建築主事

代表となる工事監理者	事務所名	級建築士事務所　（　　）登録第　　号	
	所在地	TEL	
	資格・氏名	級建築士　（大臣・知事）　第　　号	
工事施工者	施工者名	建設業許可　（特定・一般）　第　　号	
	所在地	TEL	
	氏名		
建築主	住所	TEL	
	氏名		

下記の建築物は建築基準関係規定に適合した施工を行い、構造耐力上安全であることを確認しましたので報告します。

工事名							
建築場所							
確認年月日番号	令和　年　月　日　第　号			構造計算	(X) ﾙｰﾄ（　）、(Y) ﾙｰﾄ（　）、その他（　）		
工事概要	構造種別	S ・ RC ・ SRC ・		工事種別	新築・増築・		
	階数	地上　階・地下　階・PH　階		最高の高さ	m	軒の高さ	m
	建築面積	m^2		延べ面積	m^2		
計画変更（有・無）	令和　年　月　日　第　号	内容1.					
	令和　年　月　日　第　号	2.					
	令和　年　月　日　第　号	3.					
軽微な変更（有・無）	内容						

コンクリート強度	普通	基礎	Fc		Fq		養生方法		
		～	Fc		Fq				
		～	Fc		Fq				
		～	Fc		Fq				
	軽量		LFc： 15、 18、 21、 N/mm^2 . 比重						
	PCa.		Fc：　N/mm2	杭	Fc：　N/mm^2				
鉄筋	SD 295 ・ 345 ・ 390		ガス圧接　有・無 (D　～　) 特殊継手　有・無						
鋼材	SS 400 SM 400(A ・ B)　490(A ・ B)、 SN 400(A ・ B ・ C)　490(B ・ C) STKR 400、490　BCR295、 BCP（　）		工場溶接　有・無 現場溶接　有・無						

基礎	支持地盤	支持力　kN／m^2
	直接基礎　独立 ・ 布 ・ べた	液状化対策　（有 ・ 無）
	地盤改良　工法名　（　）	
	工法概要　（　）	
	評定・認定等　年　月　日第　号	
	杭基礎	・埋込み杭（セメントミルク），打込み杭 PHC杭（　種），PRC杭（　種），鋼管杭 ・場所打ちコンクリート杭（拡頭，拡底，鋼管巻、 アースドリル，リバース，オールケーシング，BH，深礎） ・異形摩擦杭 認定 ・ 評定工法（　） 認定 ・ 評定　年　月　日　第　号

認定材料・構法等
大臣認定　令和　年　月　日　第　号
（認定内容　）
技術評定　令和　年　月　日　第　号
（評定内容　）
技術評定　令和　年　月　日　第　号
（評定内容　）

記入上の注意 ◎　提出及び記入は、原則として工事監理者によること。

その他
- ● 施工写真、施工記録、データ（ミルシート、各種試験結果等）を提示すること。
- ● 延べ面積50㎡以上の鉄骨造または鉄骨鉄筋コンクリート造の場合は鉄骨工事報告書を添付すること。

確認した項目にチェック☑を入れ、必要に応じて（　）内に詳細を記入すること

□1 設計支持地盤を確認した。（　　層）
□2 基礎杭の品質、位置（偏心距離　　）、径、長さ、本数、及び支持力を確認した。
□3 基礎の形状、鉄筋径、本数及び配置を確認した。
□4 柱・梁の形状、主筋径、本数及び配置を確認した。
□5 帯筋、あばら筋の形状、鉄筋径、本数及び間隔を確認した。（副帯筋、副あばら筋を含む。）
□6 柱・梁の主筋の定着、継手及び位置を確認した。（ガス圧接、○○継手、　　）
□7 壁鉄筋の径、間隔、定着、継手及び位置を確認した。
□8 床板及び階段の厚さ、鉄筋径、方向、間隔、定着、継手及び位置を確認した。
□9 構造スリットの位置及び形状並びに振止め筋の径及び間隔を確認した。
□10 設備配管等の位置を確認した。
□11 梁、床、壁の貫通箇所の位置及び補強を確認した。
□12 型枠寸法並びにかぶり厚さを確認した。
□13 打設後の養生（型枠のせき板、支柱の取外し等）を確認した。
□14 プレキャスト・コンクリートの品質、強度を確認した。
□15 プレキャスト・コンクリートの接合方法等を確認した。
□16 エキスパンション・ジョイントの位置及び間隔を確認した。
□17 コンクリートブロックの種別（A・B・C）及びブロックの厚さを確認した。
□18 コンクリートブロック壁のタテ筋、ヨコ筋、端部筋の本数、定着及び継手を確認した。
□19 使用するコンクリートの受入検査を行い、所要のワーカビリティ、強度、その他の性能が得られたことを確認した。
20 下記の品質、強度を以下の方法により検査、確認した。
　□コンクリート
　□鉄　筋
　□鋼　材
　□鉄筋継手
　□杭
□21 その他（　　）

検査箇所	検査月日	※1　指　摘　事　項（要写真）	是正月日	※1　是　正　事　項（要写真）

※2　監理者総合所見		※3　工事監理組織	

記入上の注意 ◎　提出及び記入は、原則として工事監理者によること。
※1　指摘事項と是正内容の欄は、工事監理者が検査を行い、指摘した事項とその是正内容を記入すること。
※2　監理者総合所見の欄は、監理目標とその結果に対する所見を具体的に記入すること。
※3　工事監理組織の欄は、工事の監理体制を具体的に記入すること。